



暦の上では「立春」を迎え、日が暮れるのも遅くなり、季節の移ろいを感じる頃となりました。

大雪の影響で自由登園やバスの遅延など、通常の保育が行えない日も続いておりますが、そんな中でも子供達の園生活は、雪景色に負けないほどの活気にあふれています(笑)

「節分や冬ならではの遊び、つぼみぐみの「ミニミニ発表会」や「親子レクリエーション」など、

2月はお楽しみが盛りだくさん!

まだまだ厳しい寒さが続きますが、春に向かって一歩ずつ歩みを進める大切な時期…

笑顔と元気な声に包まれながら、子ども達の大切な育ちの時間を丁寧に積み重ねていきます。

## 卒園式のご案内

萬象に春を告げる候、白ゆり幼稚園も嬉しい卒園の日を迎えます。楽しい日もあれば、苦しい日もありました。暖かな日もあれば、寒い日もありました。どの子どもご家庭の励ましのおかげで健やかに幼稚園生活を送ることができました。

意欲と自信、思いやりの心、教師の話をしっかりと聞く力、自分のことは自分でできる自立、我慢が必要な時に我慢ができる自律も育ちました。ここに小学生としての素地が立派に整いました。

次の通り「第54回卒園式」を行います。卒園児達の晴れの姿に祝福をいただきたく、茲ご案内申し上げます。

**令和8年 3月24日(火) 9:30開式(12:00終了予定)**

- \* お子さんと一緒に8:50~9:00の間にご来園下さい。会場の混雑を避けるため保護者の方の参列は各家庭「2名」までとさせていただきます。
- \* 着席して式に参列できる保護者の方は各家庭「1名」です。抽選番号順に着席していただきます。同伴される保護者の方は抽選された方が全て着席されてから会場にお入りいただけます。
- \* 制服・制帽・クラスバッヂを着用して登園して下さい。水筒をご持参下さい。
- \* 記念品等持ち帰る物がたくさんあります。お使いカバンを必ずお持ち下さい。
- \* 保護者の方の上履きをご持参下さい。
- \* 園庭を駐車場として開放いたしますが、駐車できるのは整理券をお持ちの方のみです。
- \* 卒園式は進級児のお子さんは休園日となります。預かり保育もありませんのでご注意ください。

毎年、進級・卒園を控えたこの時期になると、担任や学年の教師達に、感謝の気持ちとして「記念品を…」という声が園長の耳に届きます。その温かなお気持ちに、職員一同心より感謝しております。

一方で、取りまとめをされる保護者の方のご負担や金銭的なご負担が生じてしまうことから、記念品や花束等の贈り物につきましては固く辞退させていただきたいと考えております。

どうかこの趣旨をご理解いただき、お気持ちは心の中に、子ども達の成長を共に喜び合う形でお受け止めいただけましたら幸いです。 よろしく願い申し上げます。

## 子どもの可能性を伸ばすために!

子どもの可能性は生まれた瞬間から無限に広がります!

その可能性を「伸ばす」か「奪ってしまう」のか… その別れ道に立つのが、日々の子育てであり、私達大人の関わり方です。

「奪う親」は、我が子の欠点に目を向け、その不安から言葉が厳しくなりがちで、「伸ばす親」は、我が子の長所を見つけ、小さな成長を見逃さず、それを褒めます。昨日より前に進んだことを喜び、その積み重ねが、その子の“自己肯定感”を育みます。

叱る場面でも大きく差があります。「奪う親」は、その子の人格を否定する言葉できつく叱り、子ども心を深く傷つけます。「伸ばす親」は、「その行動はよくなかったね」と、行動だけを切り離し、否定ではなく、次に進むための道標を示します。

「奪う親」は、何にでも口を出し、失敗しないように先回りして整えようとしてますが、「伸ばす親」は、「必要な時だけ」手を差し伸べ、あとは見守ります。転びそうになった時に支える手は大切ですが、自分の足で歩かせなければ、子どもは自分の足で立つ力を身に付けられませんか。

失敗についても同じです。「奪う親」は、失敗しないように道を塞ぎます。「伸ばす親」は、失敗から学ぶ経験を大切にします。

比べ方にも違いがありますね。「奪う親」は、他の子と比較して不安を募らせますが、「伸ばす親」は、過去の我が子と比較して「ここまでできるようになったね!」と、成長を喜びます。比べる相手はいつだって“昨日の我が子”で十分なのです。

「自立」の捉え方も重要で、「奪う親」は、自立のために「全部一人でさせよう」としますが、「伸ばす親」は、自立の土台として適度に「甘えさせ」ます。ここで大切なのは「甘えさせる」と「甘やかす」ということです。「甘えさせる」は「親主導」で、我が子のために必要な時に受け止めることで、「甘やかす」は「子ども主導」で、求められるままに与え続けることです。安心して甘えられた子どもは、いずれ自分の力で一歩を踏み出せるようになります。

さらに「奪う親」は、子どもの話の途中で口を挟み、「伸ばす親」は、子どものペースで最後まで耳を傾けます。「聞いてもらえた!」という経験は、お子さんにとって何よりの安心感になるのです。

子どもの可能性を引き出し、伸ばすのは、親や大人の力ではありません。主役はあくまでも“その子自身”です。私達大人の役割は、その力が自然と芽吹くための“土台”を整えることです。幼児期の教育、日々の子育ては、そのためにあります。

**焦らず、比べず、信じて待つ! その眼差しが子どもの未来を一番大きく広げて行くのです。それが、幼児教育と日々の子育てにおいて、大切にしたい“基本姿勢”ですね。**

## ☆☆☆ 2月の「お誕生会」は…☆☆☆

2月26日(木)の「お誕生会」は、1月と2月の合同で行います。1月2月が誕生月の方は「2名」までご招待いたします。また「歌のプレゼント」は、ゆりぐみ&ももぐみです。ゆり&ももの保護者の方は「1名」までです。なお、雪の影響で園庭とスクスク広場を駐車場として開放できない場合がありますのでご留意下さい。